

# I B J I T M ジャパン・セレクション

追加型投信／国内／株式

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年3月19日～2019年9月17日

|                       |                |          |
|-----------------------|----------------|----------|
| 第42期                  | 決算日：2019年9月17日 |          |
| 第42期末<br>(2019年9月17日) | 基準価額           | 10,651円  |
|                       | 純資産総額          | 3,885百万円 |
| 第42期                  | 騰落率            | 2.6%     |
|                       | 分配金合計          | 0円       |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

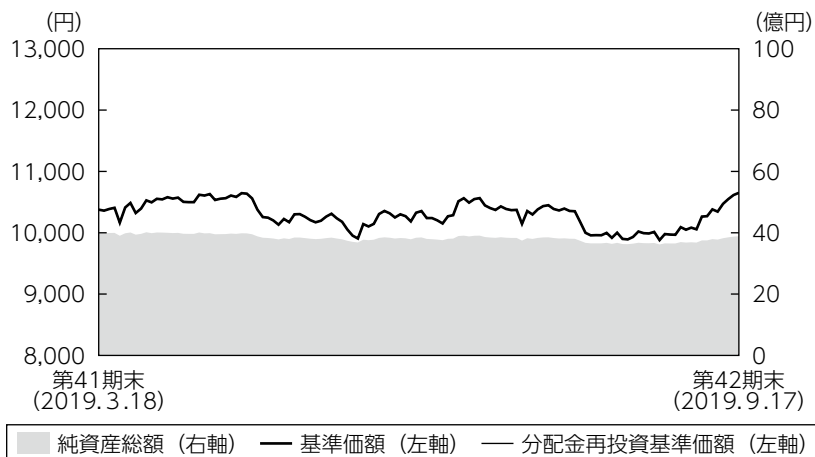
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第42期首： 10,377円  
 第42期末： 10,651円  
 (既払分配金 0 円)  
 騰 落 率： 2.6%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米中貿易摩擦の動向に一喜一憂する相場展開が続きましたが、米国の金融緩和に対する期待などが支援材料となり、国内株式市場全体が小幅高となったことから、基準価額は上昇しました。また、大型株優位の相場展開となる中、第一三共、ソニー、日立製作所、信越化学工業といったコアで保有する大型株がプラスに寄与したほか、中型株の銘柄選定も奏功して、ポートフォリオのパフォーマンスが国内株式市場を上回りました。

## 1 万口当たりの費用明細

| 項目                  | 第42期                        |                  | 項目の概要                                                              |
|---------------------|-----------------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------|
|                     | (2019年3月19日<br>～2019年9月17日) |                  |                                                                    |
|                     | 金額                          | 比率               |                                                                    |
| (a) 信託報酬            | 89円                         | 0.864%           | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>期中の平均基準価額は10,296円です。                   |
| (投信会社)              | (44)                        | (0.432)          | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価                           |
| (販売会社)              | (39)                        | (0.378)          | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、<br>口座内でのファンドの管理等の対価               |
| (受託会社)              | ( 6)                        | (0.054)          | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価                               |
| (b) 売買委託手数料         | 3                           | 0.030            | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (株式)                | ( 3)                        | (0.030)          |                                                                    |
| (先物・オプション)          | ( 0)                        | (0.000)          |                                                                    |
| (c) その他費用<br>(監査費用) | 0<br>( 0)                   | 0.001<br>(0.001) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数<br>監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用      |
| 合計                  | 92                          | 0.895            |                                                                    |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

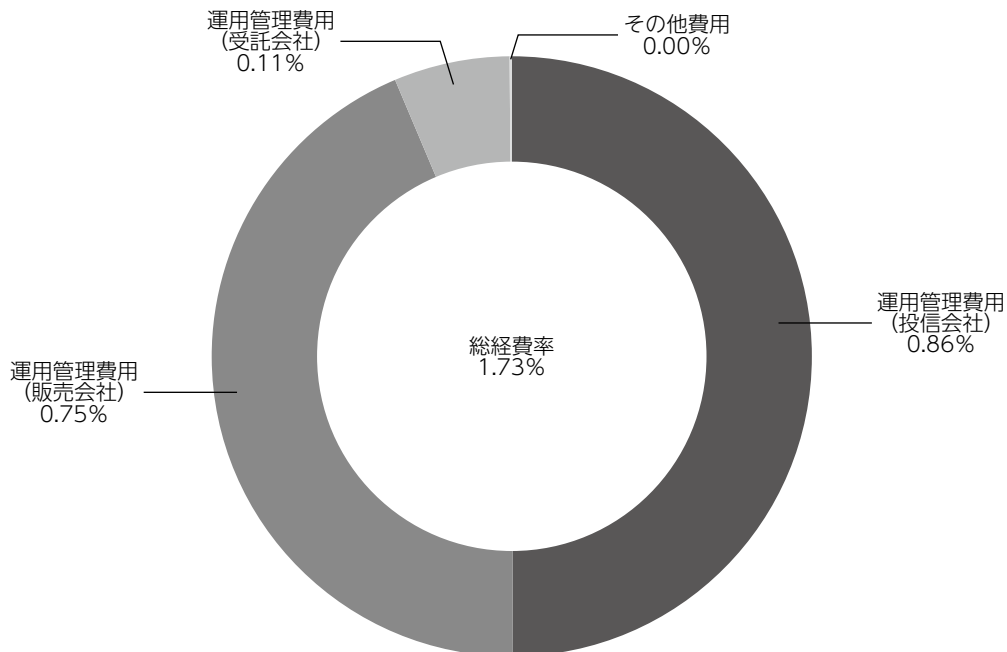
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



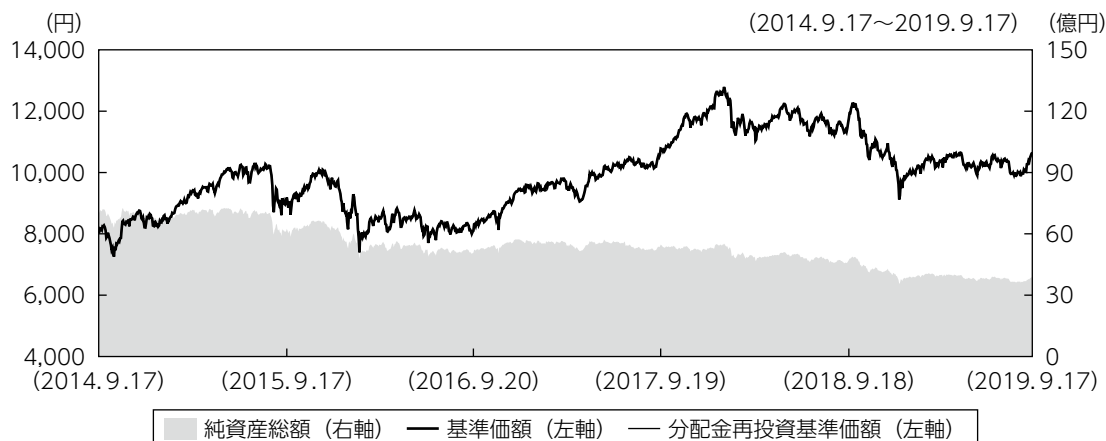
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年9月17日の基準価額に合わせて指数化しています。

|                |       | 2014年9月17日<br>期首 | 2015年9月17日<br>決算日 | 2016年9月20日<br>決算日 | 2017年9月19日<br>決算日 | 2018年9月18日<br>決算日 | 2019年9月17日<br>決算日 |
|----------------|-------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配前)     | (円)   | 8,027            | 9,184             | 8,099             | 10,784            | 11,769            | 10,651            |
| 期間分配金合計 (税引前)  | (円)   | —                | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%)   | —                | 14.4              | △11.8             | 33.2              | 9.1               | △9.5              |
| 参考指数の騰落率       | (%)   | —                | 14.3              | △11.7             | 26.6              | 5.5               | △8.3              |
| 純資産総額          | (百万円) | 7,015            | 6,247             | 5,075             | 5,471             | 4,723             | 3,885             |

(注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は東証株価指数 (TOPIX) です。参考指数については後掲の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。

## 投資環境

期初から2019年4月にかけては、米中貿易交渉の進展期待が高まり、国内株式市場は堅調に推移しましたが、大型連休中に米国が中国製品に対する関税引き上げを発表すると楽観ムードが一変し、5月に大きく下落しました。その後も米中の動向に一喜一憂する相場展開が続きましたが、米国の金融緩和に対する期待が支援材料となり底割れは回避され、期末にかけて米中貿易交渉の再開が報じられると、株式市場は急回復しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

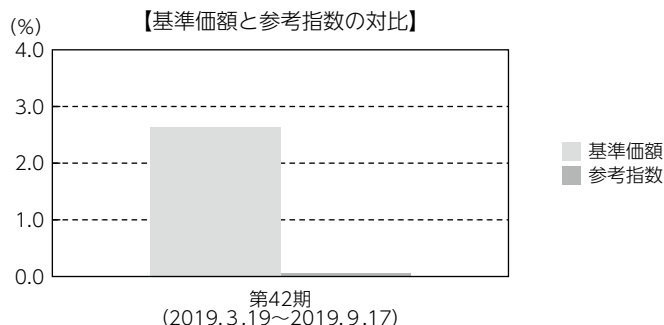
ジャパン・セレクション・マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用しました。

### ●ジャパン・セレクション・マザーファンド

人手不足や24時間営業を巡る議論が活発化したコンビニエンスストア株から、画像認識などの新技術により生産性の改善が見込まれる大手警備株への入れ替えを進めました。また足元の業績には懸念が残るものの中期的に業績回復が見込まれるファクトリーオートメーションや電子部品などの景気敏感株のウェイトを引き上げました。以上の結果、電機機器、サービス業、化学などの比率を引き上げた一方、小売業、陸運業、医薬品などの比率を引き下げました。

## 参考指数との差異

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数である東証株価指数（TOPIX）の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## 分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目         | 当期                        |
|------------|---------------------------|
|            | 2019年3月19日<br>～2019年9月17日 |
| 当期分配金（税引前） | －円                        |
| 対基準価額比率    | －％                        |
| 当期の収益      | －円                        |
| 当期の収益以外    | －円                        |
| 翌期繰越分配対象額  | 3,680円                    |

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、ジャパン・セレクトション・マザーファンドを組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

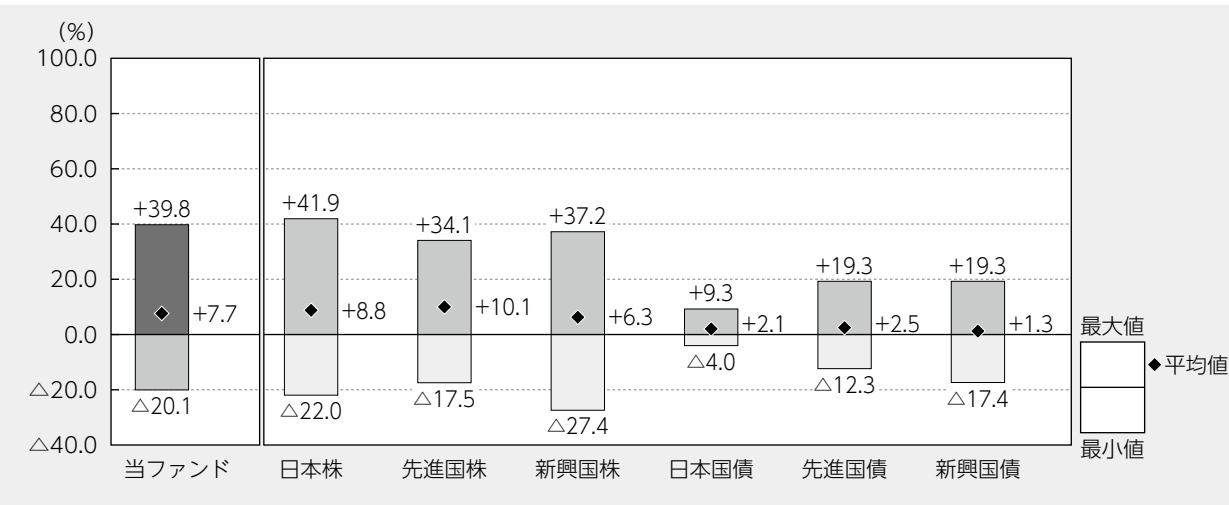
### ●ジャパン・セレクトション・マザーファンド

国内株式市場は、世界景気や企業業績の先行き不透明感から一本調子の株価上昇は見込みづらい状況ですが、米国の金融緩和期待や一部のシクリカル（景気敏感）業種の循環的な需要回復期待が支援材料となるため、貿易摩擦リスクを消化しながら、徐々に下値を切り上げる展開を想定します。引き続き、物色動向の変化に対応しながら、個別企業の競争力や成長性といったファundamentalsと株価バリュエーションを総合的に判断して銘柄を選別していく方針です。

## 当ファンドの概要

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                     |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／国内／株式                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                     |
| 信 託 期 間 | 1998年9月18日から無期限です。                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                     |
| 運 用 方 針 | 信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。                                                                                                                                                                                                                                                    |                                     |
| 主要投資対象  | I B J I T M ジャパン・セ レ ク シ ョ ン                                                                                                                                                                                                                                                        | ジャパン・セレクション・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
|         | ジャパン・セレクション・マザーファンド                                                                                                                                                                                                                                                                 | わが国の株式を主要投資対象とします。                  |
| 運 用 方 法 | <p>株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。ただし、市況動向によっては株価指数先物取引やオプション取引の利用を含め、株式比率を低下させることがあります。</p> <p>外貨建資産への投資は行いません。</p> <p>マザーファンドにおいては、国内の全上場銘柄を投資対象とし、アクティブ運用を行います。M&amp;A、自社株買い、リストラ等により収益力の向上やEPSの増加が期待できる成長株を中心に、銘柄数を絞り込んで投資します。企業評価では主として収益力や技術力といった成長力に着目すると共に、バリュー面からのチェックも行います。</p> |                                     |
| 分 配 方 針 | <p>年2回の決算時（原則として3月、9月の各17日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準を考慮した上で、配当等収益および売買益等の範囲内で分配する方針です。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>                                                                                                                                                               |                                     |

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年9月～2019年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年9月17日現在）

#### ◆組入ファンド等

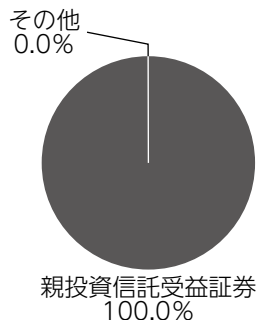
（組入ファンド数：1 ファンド）

|                     | 当期末        |
|---------------------|------------|
|                     | 2019年9月17日 |
| ジャパン・セレクション・マザーファンド | 100.0%     |
| その他                 | 0.0        |

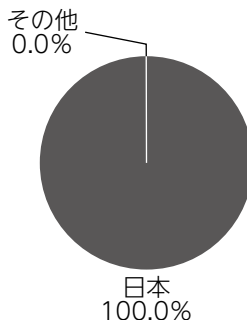
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

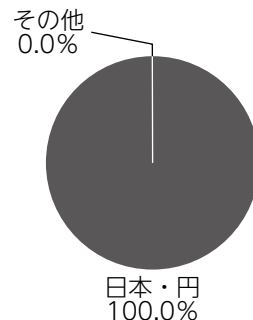
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

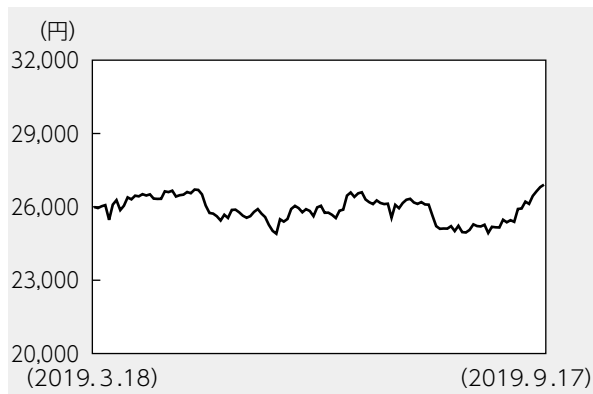
| 項目         | 当期末            |
|------------|----------------|
|            | 2019年9月17日     |
| 純資産総額      | 3,885,769,133円 |
| 受益権総口数     | 3,648,229,391口 |
| 1万口当たり基準価額 | 10,651円        |

（注）当期中における追加設定元本額は9,190,850円、同解約元本額は204,546,037円です。

## 組入ファンドの概要

【ジャパン・セレクション・マザーファンド】（計算期間 2019年3月19日～2019年9月17日）

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄（現物）

| 銘柄名             | 通貨   | 比率   |
|-----------------|------|------|
| セコム             | 日本・円 | 4.4% |
| ソニー             | 日本・円 | 4.1  |
| トヨタ自動車          | 日本・円 | 3.7  |
| スズキ             | 日本・円 | 3.0  |
| キーエンス           | 日本・円 | 3.0  |
| 三井住友フィナンシャルグループ | 日本・円 | 2.8  |
| 日立製作所           | 日本・円 | 2.7  |
| 中外製薬            | 日本・円 | 2.3  |
| 信越化学工業          | 日本・円 | 2.3  |
| 日本電信電話          | 日本・円 | 2.2  |
| 組入銘柄数           | 93銘柄 |      |

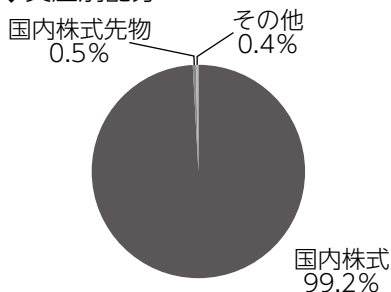
### ◆1万口当たりの費用明細

| 項目          | 当期  |         |
|-------------|-----|---------|
|             | 金額  | 比率      |
| (a) 売買委託手数料 | 8円  | 0.030%  |
| (株式)        | (8) | (0.030) |
| (先物・オプション)  | (0) | (0.000) |
| 合計          | 8   | 0.030   |

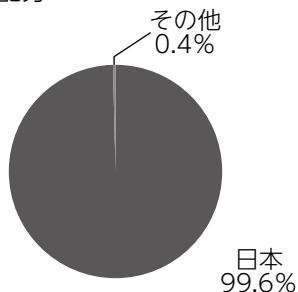
### ◆組入上位銘柄（先物）

| 銘柄名   | 売買  | 比率   |
|-------|-----|------|
| TOPIX | 買建  | 0.5% |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |      |

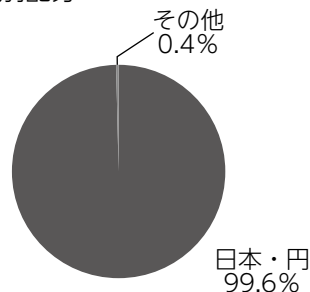
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（25,901円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## ＜当ファンドの参考指数について＞

### ●東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）

東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびＴＯＰＩＸの商標に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

- 「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。